



方針

- 1 理念と基本方針
- 2 ビジョン（今後の方向性）
- 3 令和7年（2025年）度までの診療機能（中期目標）

Ⅲ 方針

1 理念と基本方針

平塚市民病院は、地域の中核病院として、安全・安心で質の高い医療を提供し、市民の皆さんの健康保持に寄与するため、次のとおり理念、基本方針を掲げます。

理念

私たちは、地域医療と市民生命をまもります

基本方針

“そばに寄り添い、ともに闘う”
医療を提供します

- 患者さんへの十分な説明と同意のもとに、適切な医療を提供します
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の全人的医療（※）を展開します

安全・確実で、最新・高質の
高度医療を提供します

- 安全・確実で、患者さんに信頼される医療を提供します
- 最新・高質な高度医療を適切に提供します

地域に根ざした
急性期医療を展開します

- 断らない救急・救命医療の実現に努めます
- 救命のための病院前医療や広域の災害医療に取り組みます
- 小児・周産期など、地域で必要とされる医療を担います
- 医療連携を推進し、地域医療に貢献します

病院経営の健全性の向上を
図ります

- 必要な人材の確保、診療単価や症例数の充実を図ります
- 経費削減に取り組み、効率的な病院経営に努めます

教育、情報発信により
社会に貢献します

- 医療職、事務職の教育・研修に取り組みます
- 臨床研究や情報発信、医療系学生教育を積極的に行います
- 情報発信や公開講座などを通じて、医療や健康に対する市民の皆さんの関心を高めます

働きやすい職場をつくります

- 安全で快適な職場環境を整えます
- キャリア形成を支援して、人材育成に努めます

2 ビジョン（今後の方向性）

平塚市民病院は、「理念」と「基本方針」の下、将来の社会保障制度や平塚市周辺地域の医療需要を注視しながら、地域社会で役割を果たし、患者さんや地域の医療機関から信頼を得るために、実践的で具体的な組織の未来像として、令和7年（2025年）のビジョンを示します。

なお、このビジョンは、現行の医療制度や診療報酬体系の変更、医学、医療技術及び薬剤の進歩（ロボット手術や高額薬剤の開発・普及等）、医療圏の人口動態及び医療状況の変化、医師・看護師等の確保に影響を与える教育制度や雇用制度の変更等がないことを前提にしており、目まぐるしく変化している医療政策に対しては、情報収集と進捗管理を徹底し、臨機応変に対応します。

平塚市民病院の「ビジョン」

**持続的な健全経営の下
高度医療、急性期医療及び政策的医療を担い
患者さんの生命（いのち）を守る診療を行う**

超高齢社会（※）の進展に伴い、国が示す「地域包括ケアシステム（※）」において、急性期の病院は、介護保険事業との整合性を確保しつつ、各医療機関との連携により、手術や入院など専門的で高度な医療を担うこと（医療の機能分化）が位置付けられています。

平塚市総合計画においては、「さらに、選ばれるまち・住み続けるまち」へ向けた重点課題として、「子育て支援」や「超高齢社会への対応」が掲げられています。

これらを踏まえ、平塚市民病院は、公立病院、また、「地域医療支援病院（※）」として、国が進める医療の機能分化を推進し、地域のニーズに応える医療を展開するため、高度な医療を持続的に担ってきた経緯から、救急や紹介の患者さんを中心とした、中等症から重症に対する診療体制を整備し、「救命救急」や「手術」、「難しい検査や処置」などの高質で高度な医療や、小児・周産期医療（※）などの政策的に担わなければならない医療を地域の皆さんに提供します。また、急性期の治療を終えた患者さんについては、地域医療連携により、病状に適した医療機関を紹介することを徹底します。

あわせて、自ら積極的に地域に出て活動をすることで、平塚市が、「いつまでも住み続けたい、医療が充実したまち」として選ばれるよう、まちづくりに貢献します。

一方、良質な医療を継続して提供するためには、経営の安定化が不可欠であることから、企業体として、高度に収支バランスが取れた病院経営体制を構築します。そのためには、質の高い職員を配置する必要があります。採用活動の工夫、勤務条件の研究、職場環境の整備や教育体制の充実などにより魅力的な環境を整え、理念及び基本方針とそとで掲げたビジョンを理解、共有し、社会に貢献できる質の高い職員を確保、育成することで、担うべきものを明確にした、真に市民の皆さんに求められる病院を目指します。

現在、国が進める医療制度改革は、団塊の世代（※）が後期高齢者になる令和7年（2025年）に向けて、医療のみならず介護や福祉等を含め大きく動いており、国はこれからの医療環境において地域医療を継続的に維持するため、病院に対してこれまで以上に「役割の明確化」を求め、それが収益の確保や経営面の安定に結びつくような仕組みづくりを進めています。

これにより、今後、病院が健全経営を行うためには、全てのニーズに応えることが難しい状況になるものと見込まれ、現在ある施設や設備、人的資源を有効活用し、経営の安定化を図りつつ、地域ニーズに応えるための診療体制を構築しなければなりません。

また、神奈川県地域医療構想では、湘南西部二次保健医療圏（※）において、超高齢社会（※）の進展により、がん、急性心筋梗塞、脳卒中、肺炎、骨折などの医療需要増加や、それに伴う救急患者の増加が見込まれています。

このような状況の中で、平塚市民病院は、高度医療、急性期医療を担うとともに、公立病院として政策的医療である小児・周産期医療（※）などを今後も持続的に提供し、地域ニーズに応えることとしています。特に他院からの紹介や救急経由で受診する中等症から重症の患者さんを中心に診療を行うこととし、令和7年（2025年）度までの中期目標として、次の診療機能に重点を置いた病院運営を行います。

【令和7年（2025年）度の診療機能】

診療機能	
内容	具体的施策
地域の中核病院としての高度医療・急性期医療を担います	「地域医療支援病院（※）」として、高度医療・急性期医療の分野を担い、地域の医療機関と連携して、地域完結型医療の中で主要な役割を果たしていきます。
救急医療体制を強化します	救命救急センター（※）として、「断らない救急」を実践するとともに、心臓大血管センター、脳卒中センターを充実し、救急搬送患者をより効率的に受け入れるよう体制を強化します。
がん医療の充実に努めます	（1）胃・大腸・肺・肝臓・乳がんの5大がんをはじめ、これまで力を入れてきた泌尿器科・婦人科領域のがんについても、高い診療レベルを維持します。 （2）手術、化学療法（※）、放射線治療とそれらの集学的治療に加えて、緩和ケア（※）にも力を入れます。
地域の小児・周産期医療の中心を担います	（1）公立病院として、地域で求められる小児・周産期の高度医療、救急医療に対応できる診療体制の維持に努めます。 （2）妊娠・出産から、新生児・乳幼児・小児期を一貫した体制で診療します。
地域包括ケアシステム（※）において急性期の病院としての役割を担います	急性期の病院として、急性期病態への対応や、地域の医療機関等への教育指導、情報共有に努めます。
災害拠点病院（※）としての機能を充実します	（1）自然災害に強い病院づくりを目指します。 （2）災害時に多発する重篤患者の受入れや、災害派遣医療チーム（DMAT）（※）の派遣を行います。

【短中期事業計画】

内容／年度	H30	R1	R3	R4	R5	R6	R7
外来患者数 (1日平均)	846.2人	829.0					741.3人
外来診療単価	14,341円	15,463円					18,000円
外来受診体制	呼吸器内科、 精神科が 完全紹介制	呼吸器内科、 精神科、 整形外科、 眼科が 完全紹介制					「完全紹介制」の拡大を検討
入院患者数 (1日平均)	350.1人	348.9人					373.4人
入院診療単価	66,953円	67,307円					70,000円
病棟運用	386床 (H30.7～)	402床 (R1.7～)	410床 (R2～)				
入退院支援の 強化	-	PFM(※) 試行	R2以降PFM順次導入、実施				
救急搬送患者 入院患者数	2,725件	2,747件					3,000件
手術件数	3,937件	4,007件					4,400件
手術室稼働率	-	54.4%					手術室稼働率の上昇
紹介率(※)	71.4%	78.6%					80.0%
逆紹介率(※)	98.4%	108.0%					100.0%
医療機器の 新規導入	-	外科手術用 Cアーム型 X線撮影装 置(※)	MRI(※) 1台増設 (2台態勢)				
職員の質の向上、 確保	研修の実施、 資格取得・自己研鑽の支援等						採用活動の工夫、多様な働き方への対応、 教育体制の充実、資格取得・自己研鑽の支援等

★「医療機器の新規導入」の令和元年度は、新規に導入した一定額以上の機器を記入しています。令和3年度以降は、現状で導入が見込まれる機器のうち、主な新規のものを記入しています。現状導入済みの機器の更新は記入していません。また、医療機器の新規導入は、医療技術の進歩、診療体制の充実や収益の確保への必要性、経営状況や医業収益とのバランス、企業債(※)の償還、維持経費や費用対効果を考慮しながら検討を行うため、今後、変更・追加等が生じる場合があります。

平塚市民病院
Future Vision
2017-2025（改訂版）
の位置付け

理念

基本方針

将来構想

平塚市民病院
Future Vision
2017-2025（改訂版）

「ビジョン」
経営戦略
KPI（※）
（重要業績評価指標）

職員行動計画
（事業実施計画）